

仁王門

これは高德院への正門であり、「大遺山」という寺の別名を記した銘板が掲げられています。この山名の意味するところは明らかではありません。この門は18世紀に別の場所に再建され、仁王像も造られました。これは、寺の守護者であり、また仏教そのものの守護者でもある、半神の存在です。仁王は恐ろしげな外見をしており、その口は神聖な守護の音節である「阿」と「吽」を示しています。